

三河商人道

PART
160

青年部とは
成長と仲間作りの場であり
大人の部活動



【会社・仕事への思い】

佐野さんの会社は昭和28年に創業し、菓子問屋三川屋という屋号からのスタートでした。昭和48年に岡崎問屋団地に移転し、平成2年に菓子問屋三川屋を分離しました。佐野さんのお兄さんが代表を務める株式会社ミカワチルドでは乳製品を取り扱っています。佐野さんが代表を務める株式会社ミカワヤコンフェクトでは昭和・平成のお菓子・玩具を中心に取り扱っています。取材後に、店内を拝見させて頂きましたが、懐かしいお菓子の宝庫で、スタッフもキラキラした目で“懐かしい”“これうまいんだよなあ〜”と盛り上がりました。

【青年部に入会されたきっかけ】

青年部に入会したきっかけは、野末さん(有限会社茶の大黒園)のご紹介で、平成12年4月に岡崎商工会議所青年部に入会。平成19年には振興委員会の委員長を務め、地域への貢献や自己研鑽に励みました。“妻が理解し支えてくれたことが1番の励みとやる気に繋がり、“本当に感謝している”と佐野さんは話してくれました。

【思い出に残る青年部活動】

青年部活動では、25周年で副会長という大役をこなし、今まで学んできたことを生かし、後輩へのアドバイスを行ったことで、岡崎商工会議所青年部のメンバーと今まで以上に親交を深めることができたとのこと。また、ジュニエコの活動では、何も無いところから作り上げたことが一番大変だったけど、今では良い経験ができ楽しかった、と当時を振り返りながら嬉しそうに話してくれました。

【趣味など】

趣味は、ゴルフ・釣り・スキー・映画・読書…などなど、すごく多趣味で、特に、ゴルフが好きとのこと。最近では、青年部のメンバーと年に4・5回程度行くそうです。また、釣りに関しても年に1度、船を借りて沖釣りに行くそうです。

【青年部とは・・・】

最後に、佐野さんにとって青年部とは「成長と仲間作りの場であり、大人の部活動」と話して頂きました。“青年部に入会し15年が経ち、先輩に叱られ、思い悩んで、時には失敗しましたが、何度も何度も挑戦してきたからこそ、今の自分と会社がある”と語っていただきました。



取材担当/
研修委員会
加藤賢一、柴田法昭、
都筑之泰、高橋 進
大竹雄介